

見えない誰かのために。

献血には関心があるけど…

- 私に献血ができるのかわからなくて、不安
- 針を刺されるのが少し怖い
- 行ってみたいけど、一人では行きにくい

初めてなら、不安に思うのは自然なことです。



初めての献血 3つの安心

1 献血ができる体調か、事前に確認します

受付の後、質問への回答、問診、血圧測定、少量の採血による検査などを行います。献血する人の安全を確認してから採血します。



2 不安なことは、スタッフに相談できます

針を刺すときには、チクッとした痛みがあります。心配なことや、体調について気になることがあれば、遠慮せずスタッフに伝えてください。



3 一人で行かなくても大丈夫です

青年会、女子青年、学生会などの友達や仲間と一緒に行ってみませんか。最初の一步も、誰かと一緒なら踏み出しやすくなります。



今この瞬間も、病気やけが、手術などによって、輸血を必要としている人がいます。その人の顔も、名前も、私たちには分かりません。それでも、見えない誰かに心を寄せ、自分にできることを行動に表す。天理教献血推進委員会では、「献血ひのきしん」を、身近なところからはじめられる「人だすけ」の一つとして呼びかけています。



献血ができなくても、できる「ひのきしん」があります。

※詳しくは、二次元コード「献血ひのきしんについて」をご覧ください。

それぞれの立場でできることがあります。



街頭での声かけ。



会場でのお手伝い。



友人・知人を誘う。

できる人が、できるときに。
あなたの一歩が誰かを救う

初めて献血される方へ



献血ひのきしんについて

